



万燈通信

太田市立休泊中学校

学校通信 第3号

令和6年6月3日

『あいさつ、清掃、ボランティア』を進んで行う休泊中生徒

大きな地震が発生した際の生徒の下校等について

5月21日（火）に「第1回避難訓練」を実施しました。大きな地震の後に給食室より出火という想定で避難訓練を行いました。生徒達は落ち着いて行動することができていました。

特に東日本大震災では、太田市でも地震直後から電話やメールがつかない状態が続き、非常時の情報伝達や下校対応の難しさが浮き彫りになりました。そこで今回の訓練では、震度5以上の地震が発生した際の帰宅方法についても確認をしました。さらに今回の避難訓練を通して幾つかの課題も見えてきました。

【見えてきた課題】

- 災害時には、生徒の所在確認を確実に行う必要がある。どの生徒をいつ、誰に引き渡したか。また、どの生徒が自力で下校したかを確実に把握する必要がある。大地震という災害時、限られた職員でこれらを確実に行うためには時間がかかることが予想される。
- 生徒を自力下校させる場合は、その前に校区内の安全確認および下校中の交通指導が必要となるが、そこまで対応できる人員が確保できない可能性がある。
- 通学路の安全確認の結果、「停電で信号が消えている」「通学路で火災が発生している」など危険が予測される場合は、自力での下校が難しくなる場合がある。
- 保護者が迎えに来ることになっている生徒についても、交通渋滞等のため保護者が迎えに来るのにかなりの時間を要する場合がある。



【上記課題を踏まえ、震度5弱以上の地震発生の際、以下の対応を取ります】

- まずは引き渡しの子を優先します。
- 自力下校をする生徒については、引き渡しへの対応が一段落した後に職員が主な通学路の安全確認を行い、その後の下校となります。したがって、自力下校の生徒は、地震発生から下校までかなり時間がかかることが考えられます。
- 通学路の安全点検を行った結果、自力での下校が難しいと判断した場合は、そのまま学校待機となる場合もあります。
- 保護者が迎えに来ることになっている生徒については、迎えが遅くなくても学校で待機を続けることを基本とします。

【その他】

- 避難訓練の際に避難経路を確認したところ、本校は屋根瓦等が落下する危険があることが分かりました。そこで生徒には「校舎から避難する際は屋根瓦等が落下してくる危険があるため、揺れている間は校舎から飛び出さないことや避難する際は落下物に十分注意をすること」を指導しました。また、実際に地震が発生し生徒が避難をする場合には、職員が校舎出入口の監視に当たります。

【保護者の皆様へのお願い】

- 「生徒家庭調査票」では、「ア 安全が確保できた場合には、下校させてください」「イ 保護者が学校に迎えに行くまで、学校に待機させてください」「ウ その他」のいずれかに○をつけていただいております。今回の避難訓練の際に各担任から生徒へ確認を行いました。ご家庭でも、再度確認をお願いいたします。
- 下校方法について変更がある場合は、学級担任へお伝えください。

市中体連及び各種発表会展覧会決意表明・壮行会を行いました

5月17日（金）に、生徒会が中心となり「市中体連及び各種発表会展覧会決意表明・壮行会」が行われ、各部から市の総合体育大会や東部地区のコンクール、卒業制作等に向けた力強い決意発表がありました。

【学校長の話(一部抜粋)】

いよいよ運動部は市の総合体育大会、吹奏楽部はコンクール、美術部については卒業制作等が本格的に始まります。特に3年生にとっては、終われば引退という、とても重要な大会やコンクールとなります。そこで、私からは激励の気持ちを込め、3つ皆さんにお願いがあります。



まず1つ目として、各部の皆さんは、残りの時間でチームの団結力をより高めていってください。これまでも様々な試合やコンクール、作品等を見てきましたが、大会などでとても素晴らしいと感じるチーム、自分たちの力を最大限発揮できていると感じるチームが

ありました。それらのチームに共通しているのは、チームがよくまとまっている。チームとしての団結力が感じられるという点です。例えば、試合に出ている人は、互いに声を出して励まし合ったり、応援している人の気持ちにしっかりと応えようとしていたりする姿が見られます。また、応援の人達も力を合わせ、必死に応援している姿が見られます。こういったチームとしてのまとまり、チームとしての団結力が感じられる部は、自分たちのもっている力を最大限発揮することができているとともに、見ていてとても気持ちがよいです。特に1, 2年生の皆さんにお願いですが、3年生にとっては次の大会やコンクールが中学校での最後の部活動になります。この、人を支える、精一杯応援するという経験は、皆さんが大人になって社会に出たとき、必ず役に立つ経験になりますので、ぜひ、しっかりと3年生を支えていってください。

次に、2つ目のお願いです。2つ目は、最後まで諦めず、粘り強く試合やコンクール、作品作りに臨んでほしいという事です。最後まで諦めずに粘り強く取り組むという姿勢は、これから迎える高校受験、また、将来社会に出たときにも必ず役に立つ経験となるはずですが、また、最後の最後まで、諦めないで必死に頑張る姿勢。これは、見ている人にも感動を与えます。自分自身で悔いの残らない大会またはコンクールにするとともに、周りで応援している人の気持ちに応えるという気持ちも込めて、最後の最後まで全力で試合やコンクール、作品作りに臨んでほしいと思います。

続いて、3つ目のお願いです。3つめは、感謝の気持ちを忘れないでほしいという事です。まずは、皆さんの家族。皆さんを誰よりも応援してくれてきたのは皆さんの家族であり、その支えがあってここまで部活動を続けることが出来たはずですが、また、一緒に励まし合ってきた仲間に対しても、感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。これまで部活動に取り組む中で、時には意見の食い違いから対立したこともあったかもしれませんが、それでも切磋琢磨してきた仲間がいたからこそ、ここまで頑張ることが出来たはずですが、また最後に、もう一つ皆さんにお願いがあります、それは顧問の先生に関する事です。先生方の勤務時間は、平日の午後4時50分までです。つまり、土日や平日の夕方、顧問の先生はいわゆるボランティア的なものとして部活動の指導にあたっています。皆さんの、部活動を頑張りたいという気持ちを大切にしたい、皆さんの目標をかなえてあげたい、先生方はそういった思いで部活動をしています。ぜひ、そのことも忘れないでいてもらえるとありがたいです。

これまで部活をやってきてよかった。この仲間とやってきてよかった。そう思えるよう、残りわずかな練習、そして大会やコンクール本番を頑張ってください。私も皆さんのことを精一杯応援していきます。

学校ブログもご覧になってください

休泊中学校では、学校ブログも開設しております。5月も授業や部活動、学校行事の様子などを紹介しております。是非、ご覧になってください。

<https://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=1020034>

